

平成 30 年 9 月 20 日

報道機関 各位

富山大学人文学部 中国言語文化講演会

## モンゴル時代史研究からアガサ・クリスティーを眺めると

富山大学人文学部中国言語文化第二回講演会を下記の要領で行います。講師に、気鋭のモンゴル時代史研究者・京都大学人文科学研究所助教宮紀子氏をお迎えし、アガサ・クリスティーと東方文物との意外な関わりを紹介していただきます。なお、本講演会は、一般の方や学生の聴講も可能です（事前申込不要・無料）。つきましては、取材・報道方よろしくお願いたします。

演題：モンゴル時代史研究からアガサ・クリスティーを眺めると

講演者：宮紀子氏（京都大学人文科学研究所助教）

日時：2018年9月25日（火）13：30～15：30

場所：富山大学人文学部 1階 大会議室

略歴：1972年生。徳島県出身。1999年、京都大学大学院文学研究科文献文化学専攻（中国語学中国文学）博士後期課程研究指導認定退学。1999年、日本学術振興会特別研究員。2001年、京都大学人文科学研究所助手。2007年より現職。

概要：アガサ・クリスティーは再婚相手である考古学者マックス・マローワンの発掘作業に同行し、その経験を作品の舞台や登場人物の設定に活かしている。その一例である“鷲の巣”に関連し、『百万の書』の諸写本をはじめとするヨーロッパ資料や『集史』等のペルシア語資料、漢文資料の特徴等、近現代のモンゴル時代史の一端について解説する。また、探検家・東洋学者フレイヤ・スタークとの出会いが『五匹の子豚』のアンジェラ・ウォレンの人物設定に与えた影響にも触れる。

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学人文学部総務課

(jinbuns@adm.u-toyama.ac.jp)

TEL. 076-445-6131

富山大学人文学部 中国言語文化講演会

# モンゴル時代史研究から アガサ・クリスティーを眺めると



講演者：宮紀子氏（京都大学人文科学研究所助教）

専門：モンゴル時代史

略歴：1972年生。徳島県出身。1999年、京都大学大学院文学研究科文献文化学専攻（中国語学中国文学）博士後期課程研究指導認定退学。1999年、日本学術振興会特別研究員。2001年、京都大学人文科学研究所助手。2007年より現職。

著作：『モンゴル時代の出版文化』（名古屋大学出版会 2006年）、『モンゴル帝国が生んだ世界図』（日本経済新聞出版社 2007年）、『モンゴル時代の「知」の東西』（名古屋大学出版会 2018年）など多数。

## 概要

アガサ・クリスティーは再婚相手である考古学者マックス・マローワンの発掘作業に同行し、その経験を作品の舞台や登場人物の設定に活かしている。その一例である“鷲の巣”に関連し、『百万の書』の諸写本をはじめとするヨーロッパ資料や『集史』等のペルシア語資料、漢文資料の特徴等、近現代のモンゴル時代史の一端について解説する。また、探検家・東洋学者フレヤ・スタークとの出会いが『五匹の子豚』のアンジェラ・ウォレンの人物設定に与えた影響にも触れる。

2018年9月25日(火)13:30～15:30

於富山大学人文学部 1階 大会議室

問い合わせ先：富山大学人文学部東アジア言語文化講座 ([moriga@hmt.u-toyama.ac.jp](mailto:moriga@hmt.u-toyama.ac.jp))